

授業科目名： 獣医臨床医科学特論 C (岩手大学)		単位数 2 単位	担当教員名： 教授・准教授
			担当形態： 単独
配当年次： 2 年次後期	授業形態： 講義科目		開講形態： 第 2 副指導教員によるゼミナール形式
授業のテーマ及び到達目標： 講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし深さを持つ知識と技術を教授し、博士論文の作成を支援する。			
授業の概要： 産業動物及び伴侶動物の獣医療に関する高度な専門知識に関して、獣医臨床医科学講座に所属する第 2 副指導教員の専門的知識を、研究テーマとは直接の関連はない講義科目群として設置。			
授業計画： 獣医臨床医科学講座に所属する指導教員の専門の研究分野について、ゼミナール形式で討議を行う。 以下のとおり、博士論文の研究テーマには直接は関連しない研究分野の文献収集・調査方法の指導、研究の進捗状況・成果に対する質疑応答及び博士論文のプロポーザル作成指導を行う。このことを通じて、研究テーマ以外の獣医学に関連する諸問題を分析、評価する能力を養う。 講義や演習を補完するような課題文献を指定し、それを読みディスカッションのうえにレポートにまとめるなどのアドバイスと指導を行う。 研究テーマとは異なる諸問題に関する情報やデータの収集を指導する。 学会発表等での発表に対する準備を指導する。 研究プロポーザルの作成を指導する。 (宇塚 雄次) 獣医神経病学、画像診断、獣医麻酔学、獣医放射線治療、環境放射線 (岡田 啓司) 生産獣医療学、牛、代謝、アニマルウェルフェア、行動、生産性 (高橋 透) 繁殖障害の診断・治療・予防 (山崎 真大) 小動物内科学、獣医血液病学、原虫病 (片山 泰章) 獣医外科学、臓器移植、腎臓病学、整形外科学 (星野 有希)			

獣医外科学、臨床腫瘍学、軟部組織外科学

テキスト：特になし

参考書・参考資料等：特になし

学生に対する評価：受講状況と態度、ならびに講義内容の理解度などにより総合的に評価する。